

辻堂小学校改築事業に係る基本設計について

辻堂小学校改築事業は、第3次藤沢市公共施設再整備プラン及び藤沢市立学校施設再整備第2期実施計画に基づき、老朽化の解消、安全性の確保、教育環境の機能向上を図るため、施設全体の再整備事業の実施に向けて、令和5年度から基本実施設計業務を行っています。

本年6月の子ども文教常任委員会において、基本設計業務における劣化状況調査の結果及び結果を踏まえた整備方針案の報告をいたしました。今回基本設計がまとまりましたので報告するものです。

1 基本設計の概要について

(1) 設計コンセプトについて

次の4つのコンセプトを軸として基本設計を進めています。

①安全・安心に配慮し、将来にわたりずっと使い続けられる「持続可能な施設」

- ・児童の登下校や学校生活での安全に配慮した施設計画。
- ・災害に強く、避難場所として活用し、その後もすぐに、継続的に使用できる施設。
- ・高レベルの省エネ、再エネ性能を有し地球の環境負荷を低減する施設。

②技術の発展や学習、社会環境の変化に「柔軟に対応できる施設」

- ・ICTを活用した個別学習やグループ活動など、様々な学習の場となるメディアセンター（ラーニングコモンズ）を校舎中央に配置し、学習意欲を高める施設。
- ・メディアセンター周囲の共用の空間や、広場・菜園ゾーン等、様々な交流空間により、学校全体が柔軟な学びの場となるスクールコモンズを目指す。
- ・将来の児童数などを考慮した諸室の数・広さを設定し、改修も視野に入れた計画。

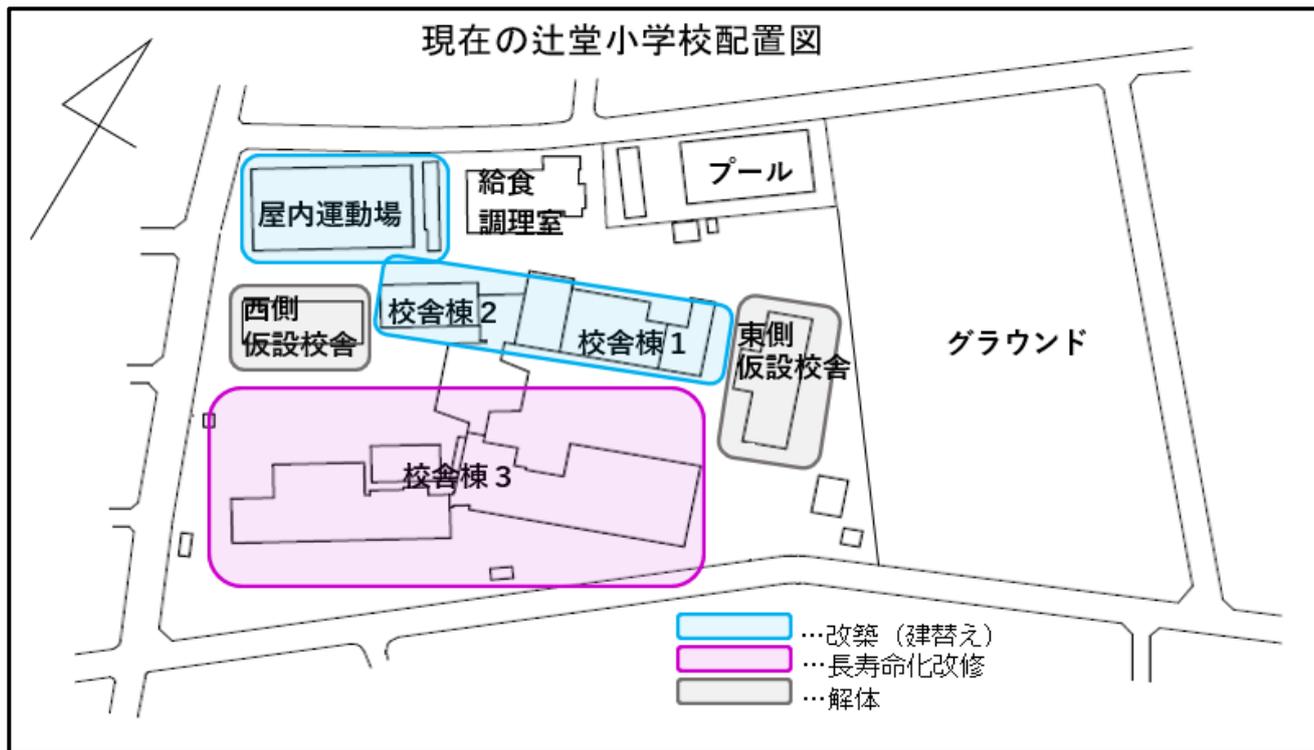
③誰にとっても使いやすい「居場所がある施設」

- ・敷地内の様々な場所が児童の「居場所」となり、楽しく通える学校。
- ・特別支援学級を普通学級と自然と交流が生まれるよう隣接して配置。
- ・学校開放など、地域との交流の拠点として使いやすく、セキュリティも確保。

④現在の街並みや景観に配慮した「まちと調和する施設」

- ・街並みに配慮し、既存の建物よりも高さを抑え、また、勾配屋根を用いて、周辺の住宅に合わせながら圧迫感を軽減。
- ・印象的な既存樹の松の木を極力残し、敷地周囲を囲うフェンスは透過性のあるものとするなど、開かれた明るい学校。

(2) 配置計画について



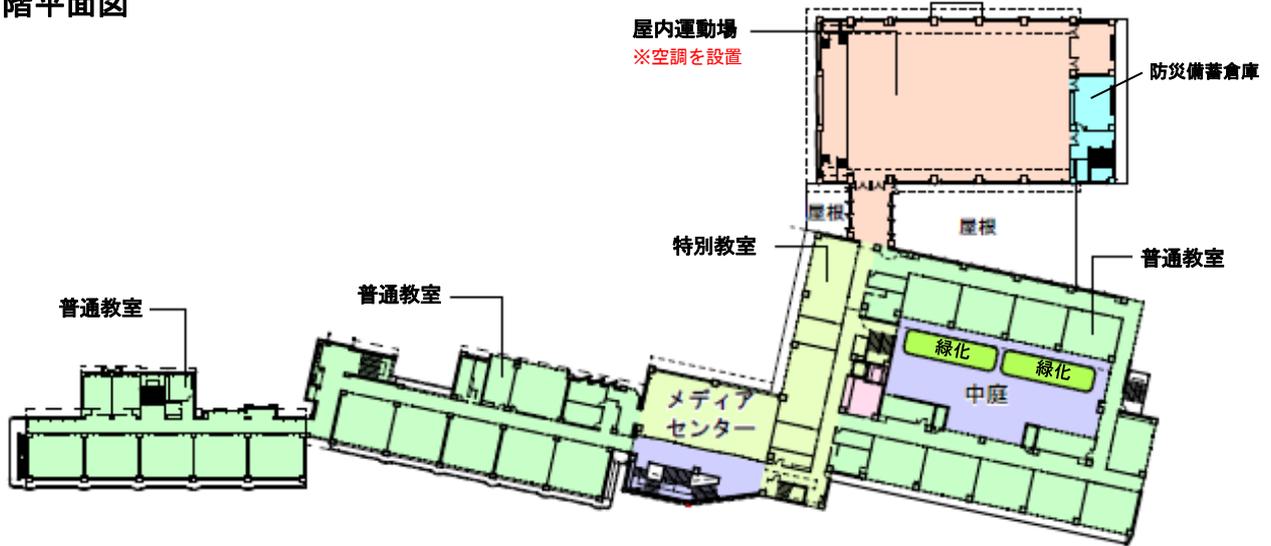
整備方針（案）

- A案** 校舎棟を現在の位置に建替える案（仮設校舎（大））
- B案** 校舎棟を現在の位置に建替える案（仮設校舎（小））
- C案** 校舎棟を既存のグラウンドエリアに建替える案（仮設校舎なし）

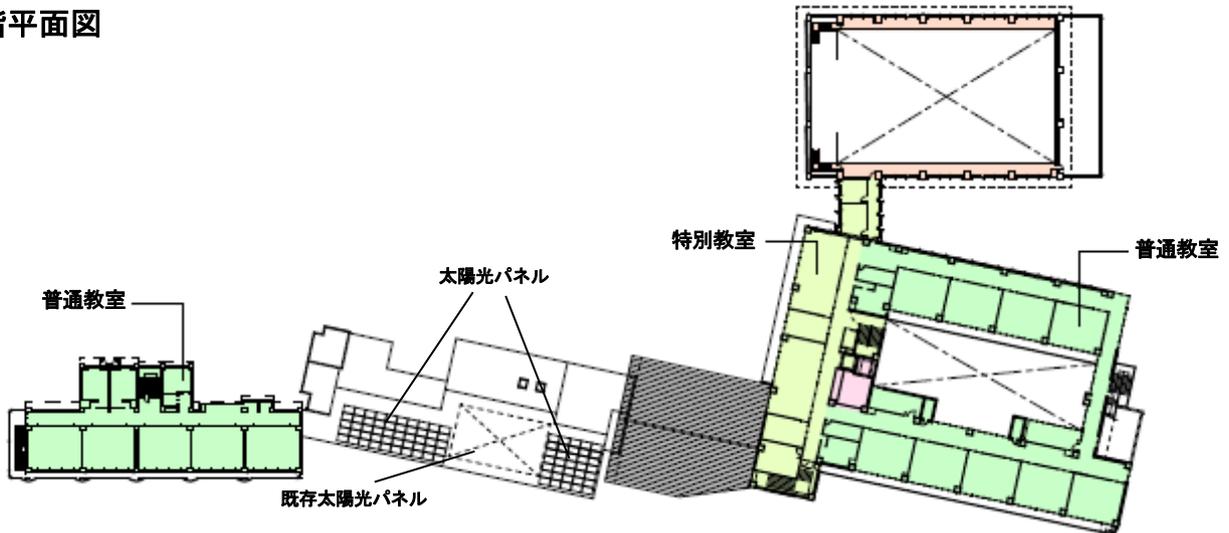


・整備方針案を比較検討した結果、仮設校舎を建設する必要がないため、費用が削減でき、工期の短縮が見込まれることなどから、現在建物のない南東側に新校舎棟を配置するC案を採用することとしました。

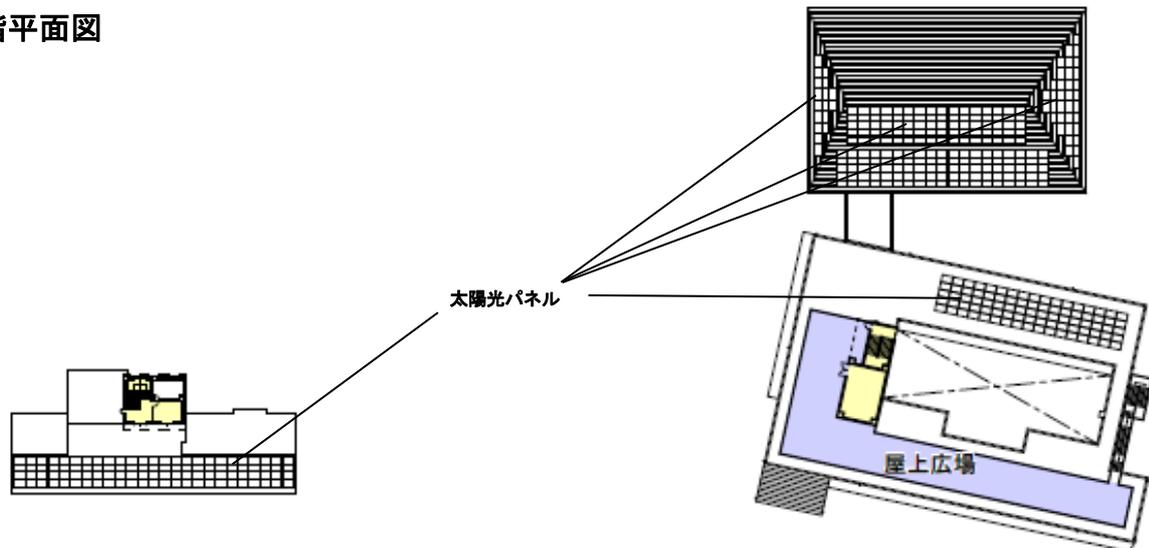
2階平面図



3階平面図



R階平面図





イメージ図（南東側）



イメージ図（西側）

(4) 事業スケジュールと工事エリアについて (予定)

事業スケジュール全体としては令和8年10月から令和13年2月で、新校舎の完成は令和10年6月を予定しています。工期Ⅰでプール解体及び仮グラウンド整備、新校舎の建設を行い、令和10年の夏季休業中に新校舎へ引越し後、工期Ⅱで給食棟等の解体及び西棟・中央棟の長寿命化改修を行う予定です。また、西棟・中央棟への引越し後、工期Ⅲで既存校舎等の解体とグラウンド整備を予定しています。

事業スケジュール

	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
解体工事	実施設計	①プール解体及び仮グラウンド整備工事		④給食棟他解体	⑦既存校舎他解体	
(別途工事)				東側仮設校舎解体	西側仮設校舎解体	
建設工事	実施設計	②新校舎建設等工事				⑧グラウンド整備
改修工事	実施設計			⑤西棟・中央棟長寿命化改修他		
工期		← I →		← II →	← III →	
				③引越し1	⑥引越し2	

工期Ⅰ

- ① プール解体及び仮グラウンド整備工事
- ② 新校舎建設等工事



⑥引越し2



③引越し1



工期Ⅲ

- ⑦ 既存校舎・昇降口棟解体工事
- ・ 西側仮設校舎解体工事



工期Ⅱ

- ④ 給食棟解体及び屋内運動場解体等工事
- ・ 東側仮設校舎解体工事
- ⑤ 西棟・中央棟長寿命化改修等工事



工期Ⅲ

- ⑧ グラウンド整備等工事



凡例

■ 工事エリア	▼ 児童・教職員 (人)	□ 引越し対応
■ 共有エリア	▼ 一般車両	□ 機能移転元
■ グラウンドエリア	▼ 給食・緊急車両	□ 機能移転先
■ 長寿命化改修	▼ 工事車両	

(5) 概算工事費について

約89億円(税込)

- ・新校舎建設工事
- ・西棟・中央棟長寿命化改修工事
- ・解体工事(プール、給食棟、屋内運動場、敷地中央既存校舎)
- ・グラウンド整備工事

2 これまでの経過について

令和6年	7月	基本設計の中間説明会を実施(地域住民及び保護者等)
	8月～11月	基本設計内容の詳細検討 学校関係者、保護者代表、隣接住民との意見交換
	12月	基本設計の検討結果を市議会定例会に報告

3 今後のスケジュール(予定)

令和7年	1月	基本設計の結果説明会を実施(地域住民及び保護者等)
令和8年	3月	基本・実施設計業務完了
令和8年	10月	工事着手予定

以上

(事務担当 教育部 学校施設課)